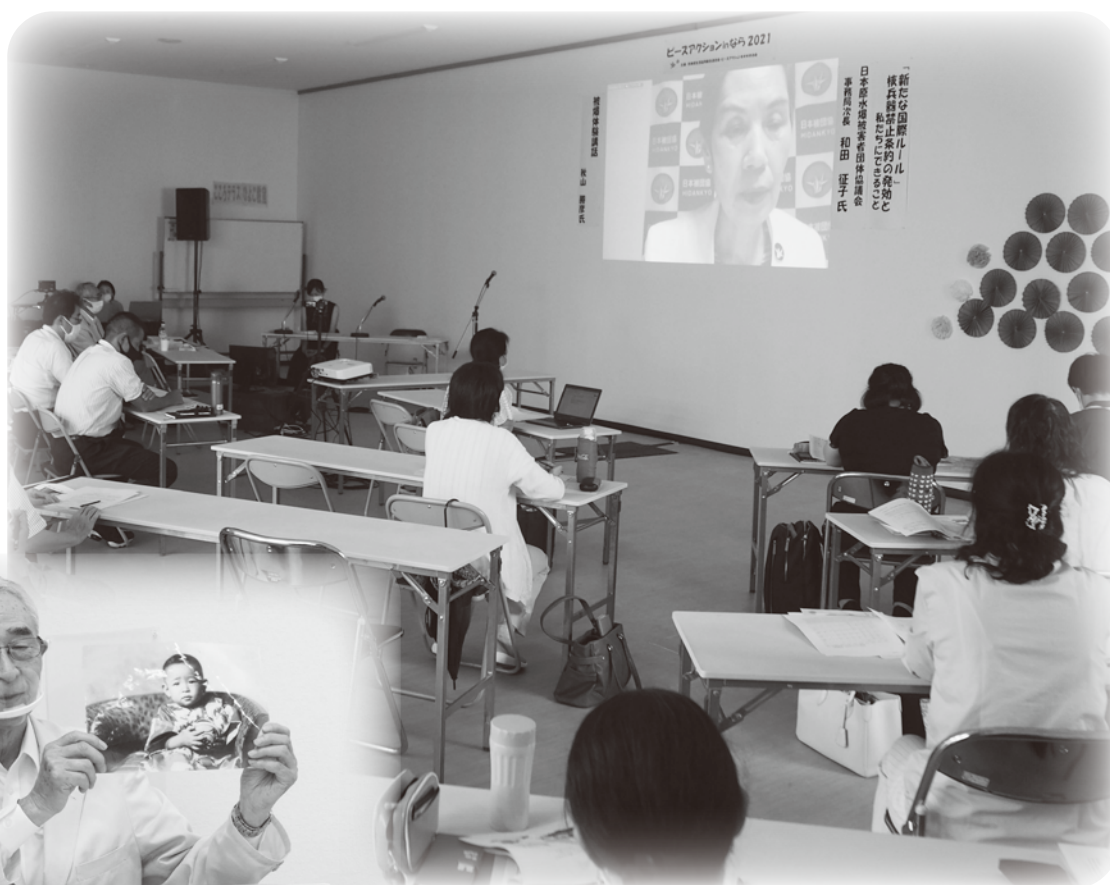


共生

奈良県生協連

2021年10月

NO.122



被爆体験を話される秋山勝彦氏

ピースアクション inなら 2021
「新たな国際ルール」
核兵器禁止条約の発効と私たちにできること

もくじ

ピースアクション in なら 2021	1
若者応援プロジェクト奈良	2
第32回 近畿地区生協・行政合同会議	3

ピースアクションinなら2021 を開催しました

7月23日(金)にならこーぷふれあいセンター六条でピースアクションinなら2021「『新たな国際ルール』核兵器禁止条約の発効と私たちにできること」をテーマに開催し、69人(会場36人、オンライン33人)が参加されました。

和田征子事務局次長(日本原水爆被害者団体協議会)の講演と奈良市在住の秋山勝彦氏の被爆体験講話、日本政府へ核兵器禁止条約の批准を求める署名を呼びかけました。

また、ならこーぷ平和ライブラリーから平和パネル「原爆と人間展」をお借りして展示しました。

和田さんは、1歳10カ月の時、長崎の爆心地から2.9kmの自宅で被爆され、母親から聞かされた言葉を語り継がれています。被団協での活動、国際署名運動、核兵器禁止条約の説明と発効の意味について丁寧に講演していただきました。

秋山さんは、5歳8カ月の時、広島で被爆され、2005年に「ぼくの戦争」を発刊し学校で被爆体験を話されています。秋山さんの「戦争だけは体験して学んではいけない」との言葉に原爆の恐ろしさと核兵器廃絶への思いが心に響きました。

最後に、ピースアクションをすすめる会から「日本政府の核兵器禁止条約署名の批准を求める署名」について説明と賛同を呼びかけました。



参加者アンケートから

○被爆国である我が国が一番率先してやるべきことがあるにも関わらず矛盾した態度がどれだけの国民を苦しめてきているのか、本当に辛く、やる瀬無くなりました。和田さんの「人はゴミのように焼かれるために生まれてきたのではない」、秋山さんの「戦争だけは体験して学んではいけない」の言葉が心に突き刺さりました。こんな理不尽な「戦争」というものを、どんなことがあろうと絶対に繰り返さないことを心に誓います。そして自分ができることを改めてしっかりと考えていきたいです。被爆者の方々が年中毎日被爆者であることを深く心に刻みたいと思います。

○「今日の聞き手は明日の語り手」という言葉、とても印象に残りました。私は次年度から小学校教員になります。和田様、秋山様のお話を胸に刻みながら、次の世代の子達が考え、語りついでいくことができるよう、私自身伝えていきたいと思いました。本日はありがとうございました。

○私は現在19歳という年齢で平和に関する授業が学校で開催されることがあったのですが、戦争や被爆の話聞くことも少なくなってしまうので、私自身の理解が少なく、今回の話は驚くようなこともあり、これらを踏まえて自分も若い人向けに伝えられるようなことがあればいいなと思っています。

奈良県生協連では1月23日に

「核兵器禁止条約の発効を歓迎し、核兵器のない世界を！」

～戦争被爆国日本の条約への批准を求めます～と声明文を出しました(奈良県生協連HPに掲載)。

奈良県生協連では「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める」署名を呼び掛けています。奈良県生協連のHPでオンライン署名が可能です。また、署名用紙もダウンロードできますので署名にご参加ください。

署名へのアクセス <https://www.narakenren.coop/siging/>

【署名の書き方】

- ◆名前はフルネーム(自署)で、住所は都道府県名からご記入ください。
- ◆ボールペンなど消えない筆記用具でご記入ください。



オンライン署名も
できます



「若者応援プロジェクト奈良」



進行中!

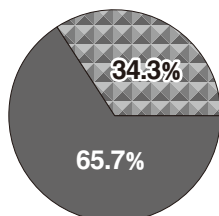


「コロナ禍で困っている学生の食料支援をしよう」と奈良女子大生協、奈良教育大生協、奈良県立大生協、ならコープ、フードバンク奈良に呼びかけて、5月末から動き出した「若者応援プロジェクト奈良」。オンライン会議で第3回以降の無料食料配布について検討を重ねています。

第1回目(6月16日実施)

無料食料配布活動は、奈良女子大学に近い天理教梅谷大教会の施設をご厚意により数日間お借りして行いました。フードバンク奈良やならコープから提供された食料品、天理教秋津大教会や労済生協からの米、雑貨等を120名分に分け、6月16日の配布の際には、会場となった天理教会の方をはじめ、奈良高専生協やコープ自然派奈良や生活クラブ生協やフードバンク奈良など多くの関係者が参加しました。雨にも関わらず111人の学生たちが訪れ、来られなかった学生にも、後日各大学生協から配布対応していただきました。その際に大学生協が取られたアンケートから学生の置かれた厳しい現状を知りました。

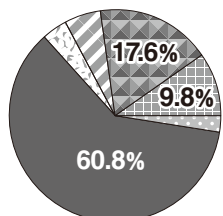
コロナ禍での生活実態について



- 生活が苦しくなった
- あまり変わらない
- 楽になった

「あまり変わらない」の層もコロナ以前から生活を切り詰めている学生がいるという事と受け止めるべきか

生活が苦しくなった理由



- 仕送りの減少
- バイト収入の減少
- PCなど的高額商品の購入
- ネット環境など通信費の増加
- 日常生活費の増加
- その他

やはりアルバイトの機会や収入が減っていることがわかる

第1回目のアンケートから

自粛生活により生活必需品への出費が多くなったため、財布の紐がとて固くなっていました。今回、たくさんのものをいただくことができ、少し心にゆとりができました。いつか私も恩返しがしたいです。本当にありがとうございました。

精神的にまいってしまい、経済的理由だけでなく精神的にも買い物に行ったりご飯を作る気力をなくしていたので、簡単に食べられるものをたくさんいただけて助かりました。

第2回目(7月21日前後実施)

フードバンク奈良やならコープや個人からの賞味期限が迫るパックご飯404食分を大学生協食堂に搬入し、奈良県生協連が購入したレトルトカレー404食分を奈良女子大、奈良教育大、奈良県立大の各生協で配っていただきました。



奈良教育大学生協では、この取り組みを知った大学職員から、実習園のジャガイモや、自家栽培の野菜などが持ち込まれ、「お持ち帰りコーナー」ができたといううれしいお話もありました。



第3回目の無料配布は、

天理大学の先生がこのプロジェクトに加わってくださったおかげで、生協のある大学だけでなく、天理大学の学生支援課や学生が運営側の中心になって実施する方向で話が進められています。大学生の置かれた状況は一時期に比べれば少しは落ち着いたようですが、留学生や下宿生の中には、まだまだ支援の手から漏れている可能性があります。共同募金会の助成金の交付も決定し、このプロジェクトを進めていきます。

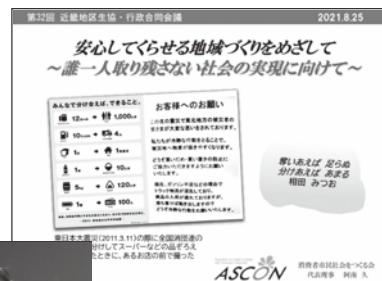
「安心してらせる地域社会づくりをめざして」

第32回 近畿地区生協・行政合同会議が開催されました

安心してらせる地域社会づくりをめざして行政と生協関係者が交流する第32回近畿地区生協・行政合同会議が8月25日にオンラインで開催され、奈良県からは消費・生活安全課北林義将係長と吉田真理子主査及び奈良県生協連が参加しました。

厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 消費生活協同組合業務室 内山徹室長は、コロナ禍の中で地域共生社会づくりを進める生協の存在価値と期待を述べられました。一般社団法人消費者市民社会をつくる会代表理事 阿南久氏による「消費者行政と生協への期待～安心してらせる地域づくりをめざして～」の特別講演が行われました。

その後、「消費者行政におけるエシカル消費推進啓発事業」（橋本市総務部市民課）、「協同組合・非営利セクター連携組織設立の取り組み」（JA大阪中央会）、「福井県民生協の協同組合連携の取り組み」（福井県民生協）、「特定非営利活動法人KC'sの活動報告」（消費者支援機構関西）の各報告があり内容についての質問や意見交換がされました。



消費者市民社会をつくる会
代表理事 阿南久氏

県連日誌

会議はオンラインで
開催されています

7月

- 1日(木) 奈良工業高等専門学校生協総会
- 15日(木) 第1回生協・行政協議会
第2回生協連理事会
- 21日(水) 近畿地区生協府県連協議会(京都)
- 23日(金) ピースアクション in なら
2021(和田征子日本被団協事務局次長講演)
- 27日(火) 奈良防災プラットフォーム
定例会
- 28日(水) JCAブロック別情報交換会

- 29日(木) 日本生協連地連運営委員会
・県連活動推進会議
生協組合員理事交流会実行委員会
奈良県労働者共済生協総代会

8月

- 19日(木) 奈良県農業再生協議会総会
- 23日(月) 若者応援プロジェクト奈良
- 25日(水) 第32回近畿地区生協・行政合同会議(和歌山)
- 28日(土) 第10回なら小地域福祉活動サミット2021

9月

- 1日(水) ピースアクションをすすめる会
- 11日(土) 「奈良県のヒバクシャの声」編集委員会
- 14日(火) 全国県連活動交流会
- 15日(水) 生協組合員理事交流会実行委員会
- 16日(木) 第3回生協連理事会
- 21日(火) 奈良防災プラットフォーム
定例会
- 22日(水) 日本生協連関西地連運営委員会

編集後記

コロナ禍で世の中は閉塞感に包まれています
が、雑誌で「幸福学」についての記事がありました。
「どうすれば幸せになるのか」そんな哲学的な
問いに対し、学問として取り組む事が「幸福学」ら
しい。日本はどちらかというと現状を受容し、耐
え忍ぶ文化。幸せになるメカニズムとは、「やっ
てみよう」「ありがたう」「なんとかなる」「あり
のまま」の4つを満たすように心がけることが
良いそうなの？現状に嘆かず、少し自分なりの幸せ
(し合わせ)について考えてみよう。

(弘)

30代のころ尊敬する方から「深謀遠慮」という言
葉をおしえていただいた。それ以降、何度ものこ
言葉の思い出しながら取り組んできた。しかし
「高齢者」になって体のあちこちに衰えや痛みが
出たり、集中力も記憶力も低下している今は、「辛
抱」「遠慮」の毎日である。

(和)

我が家の屋外の水槽にメダカがいます。今年は
室内にも水槽を置いて、メダカの稚魚を鑑賞。釣
具屋さんから購入したホテイアオイを入れてしば
らくすると、メダカではない泳ぎ方をする稚魚を
発見。よく見るとキンギョらしい。不思議だが、
おそらく買ってきた水草の根に卵がついていたの
でしょう。少し大きくなってきた稚魚たちに餌を
やるのが楽しみです。

(順)

そろそろ旬の新しょうがを知り合いから分けて
もらいました。新鮮なうちにすぐに大好きなガ
リ(甘酢しょうが)を作りました。甘酢は手拭きの
「ペーパ酢(市販品)」。数日後きれいなピンク色
になり冷蔵庫を開けては瓶からつまみ食い、罪悪
感のないおやつになっています。

(佳)